

『みんなを支援！みんなを支援！』  
第3期 推進構想  
平成30年度

# みんなが伸びる みんなと伸びる 自立を支援する教育の推進

めざす方向

自立を支援するための  
園・学校力の向上

## 基本施策3

「教職員の専門性の向上を図る研修の充実」

- ① 特別支援教育に関する教職員の専門性向上
- ② 特別支援教育コーディネーターの専門性の向上
- ③ 特別支援学校免許状の取得の啓発

## 基本施策4

「就学先決定の仕組みと教育支援の充実」

- ① 専門家チームによる巡回相談、就学先決定の仕組みの充実
- ② 早期からの教育相談・支援の充実
- ③ 就労まで見据えた本人、保護者への情報提供

## 基本施策5

「一貫した支援の取組」

- ① スマイルブックを活用した理解と支援の共有
- ② 園、学校間連携の推進

一人一人の教育的ニーズへの対応

## 基本施策1

「一人一人の教育的ニーズの把握と、それに  
応じた指導・援助の充実」

- ① 個の教育的ニーズに応じた適切な変更・調整（個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成・活用）
- ② ユニバーサルデザインの授業づくりの推進（「分かる」「できる」授業づくり）
- ③ ICT活用等、学び方の違いに応じた支援の工夫
- ④ 生徒指導、教育相談との連携

## 基本施策2

連続性のある「多様で柔軟な学びの場」の整備

- ① 基礎的環境整備の充実
- ② キキョウスタッフ（支援員）の効果的な配置と研修
- ③ 特別支援学級、通級指導教室による指導の一層の充実と、教育資源の組み合わせ
- ④ 交流及び共同学習、居住地校交流の取組の推進

障がいの有無及び程度に応じ、同じ学びの場において共に学ぶことを追求するとともに、個別の教育的ニーズのある子どもに対して、最も的確に応える指導・支援を行う教育

より適切な支援をするための  
諸機関との連携の充実

## 基本施策6

「諸機関との連携強化」

- ① 医療、保健センター、福祉との連携の強化
- ② 発達支援センターと幼稚園・保育園との連携の強化
- ③ 発達相談（学齢期）の充実

多治見市の現状と課題

- ① 特別な支援を要する子どもの割合が増加傾向にある。
- ② 一人一人の教育的ニーズに応じた支援をより充実させる必要がある。
- ③ 教職員等の専門性の向上など、園や学校が子どもの自立を支援するための支援体制を充実させる必要がある。
- ④ より適切な支援をするために、諸機関の連携を強化する必要がある。

★保健、福祉、医療と教育との連携

インクルーシブ教育推進委員会（委員：15名）

（事務局）○教育相談室 教育研究所 教育推進課 子ども支援課 保健センター 福祉課

